

**時は今、すべての街でも教育が一番大事**

—足利稲門会・足利三田会共催、足利市の教育を語る会で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 先週の土曜日・3月24日に、足利稲門会と足利三田会が主催する「足利の教育を語る会」が足利市民会館で開かれました。足利稲門会は足利市出身で早稲田大学に行かれた方々の集まり、足利三田会は慶應義塾大学に行かれた方々の集まりです。
3. 私は、この「足利の教育を語る会」のパネルディスカッションに、パネリストの一人として参加させていただきました。そこで今日は、そのときのことをお話させていただきます。
4. パネルディスカッションのパネリストとしてお話になった方は、足利高校の校長先生、足利女子高校の校長先生、足利市の教育委員長さん、両毛新聞の社長さんと私の5名です。この5名で、足利市の教育をこれからどのようにしていくかということを活発に話し合いました。
5. 足利高校の校長先生からは「とにかく高校生としての自覚を持って勉強させたい。そうすれば自分の夢も叶う」、足利女子高校の校長先生からは「高校生は高校生らしく、勉強や色々なことで一生懸命に活躍していただきたい」といった様々な御意見が出されました。
6. 私は、「足利市には日本最古の学校、足利学校があるのですから、今こそ本気になって足利学校のある街にふさわしい教育をしていただきたい。時は今」というお話をさせていただきました。
7. この放送をお聞き下さっているのは栃木県と茨城県、群馬県の方だと思いますが、各市町村には各々特有の文化や伝統があると思います。ですから、それらを踏まえてそれぞれの市町村にふさわしい教育をしていただきたいと思います。
8. パネルディスカッションでは、最初に日本の教育の現状についてお話をさせていただきましたが、日本の教育は世界で一番素晴らしいものの1つであると思います。例えば、OECD(経済開発協力機構)が3年に1回行っているPISA調査(15歳時の学力標準テスト)では、12年前の最初の調査で1

位でした。その後は1位ではなくなりましたが、ほとんどトップクラスをいつも占めています。

9. また、阪神・淡路大震災のときの国民の立居振舞い、昨年3月11日に起きた東日本大震災以降の国民の立居振舞いは本当に立派です。これほど大変な自然災害であると、多くの国では大暴動など大きな騒動が起こるのが普通のようなのですが、こんなに立派な国民はいないというほど日本人の立居振舞いは規律正しく、また、他人のことを思いやって絆を大切にすることによって、世界の方々から称讃されました。非常に立派だと思います。
10. それから、日本では20年以上にも及ぶ経済停滞が起こっていますが、国民が非常に規律正しく行動していますので、社会は正常に機能しています。ここまで経済の停滞が続くと多くの国では社会不安となり、色々な犯罪が多発することが珍しくありませんが、日本ではそういうことがほとんどありません。
11. そして、日本は世界一の長寿国です。これはすべて保健衛生思想の普及、つまり国民の教育の成果でありまして、全世界から高く評価されています。ただ、これからの社会は知識基盤社会ですので、知識・情報・技術を上手く組み合わせて用いる能力が大事になります。また、グローバル化社会が展開していますので、自分が今までに出会ったことのないような考え方・伝統・言語などを持つ人々との間で交流をしなければいけなくなります。つまり、多様な集団で行動する能力が求められます。それから、課題が山積みしていますので、自分自身を律しながら自律的に活動する能力も必要だと思います。これらの前提となる条件は、勉強の仕方を身に付けていること、読書による思慮深さを身に付けていることなどであると思います。
12. ところで、足利市の教育の課題は、日本最古の学校・足利学校のある街にふさわしい教育、具体的には近隣の街の中で抜きん出ている質の高い教育を市民が求めていることです。これは、どこの街の市民の方も思っていることだと思います。
13. 教育には、学校教育、家庭教育、社会教育の3つがあります。この3つの分野で各々が日本一を目指してもらいたい、そのために先生と呼ばれる方は十分に自己研鑽を積みながら自分の使命を果たしていただきたい・全力を尽くしていただきたいというお話もさせていただきました。
14. 市民の皆さんができることもたくさんあります。今、足利市では市民総掛かりで論語教育を行っていますが、幼児から超高齢者の方まで論語を素読してよく理解し、人徳の優れた人を自分自身で目指すことが大事であると思います。
15. また、フィンランドでは街中図書館が非常に流行っていますが、同様に自分の図書館を地域に開放して自分の責任で図書館を開設して運営することも大事です。

16. それから、自分の仕事や社会的活動を使命感に基づいて自己責任・自助努力で行って、自分の責務を社会人として全うするということがとても大事だと思います。
17. さらに、子どもたちに範を垂れること、いつまでも若々しく生きることも大事です。
18. そして、学校の先生方には、学校教育に専念していただけるような環境を整備することも大事ではないかと思います。そのような環境の中で、先生方には志を高く持って日本一質の高い教育を目指していただきたい、やるべきことは断固やり抜いていただきたい、先生方でこの街の運命を変えるくらいの使命感を持って1つ1つの学校の教育に当たっていただきたいと思います。
19. それに、社会の色々な役割を持つ方々が力を合わせて、その街の教育を共に創り出す精神も大事です。パネルディスカッションではこのような内容のお話をさせていただきました。
20. 早稲田大学を出られた方々の足利稲門会・慶應義塾大学を出られた方々の足利三田会主催の「足利市の教育を語る会」が先週の土曜日に開かれましたので、今回はその内容を紹介させていただきました。「時は今」、どこの街でも教育が一番大事だと思いますので、是非皆さんにもお考えいただければと思います。

— 2012年11月6日校正、林明夫—